

# 福岡空港の滑走路増設事業の概要

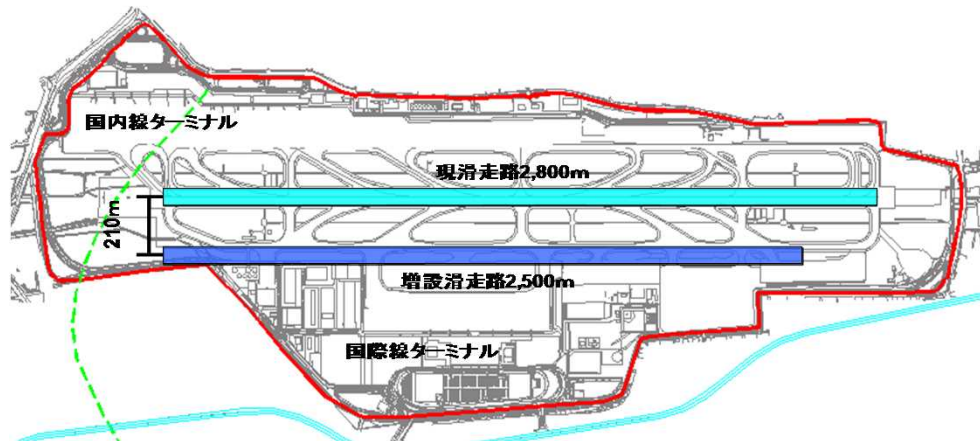
- 福岡空港は、国内の滑走路一本の空港としては、旅客数・発着回数ともに第一位であり、既にピーク時には航空機の慢性的な遅延が発生している状況にある。
- 平成24年度より滑走路増設に係る環境影響評価の進捗を進めており、順調に進めば平成27年度中に終了する予定。
- 事業化については、平成27年度概算要求において、「福岡空港における空港経営改革(コンセッション等)を踏まえた適切な財源の確保を前提」としているところ。
- 平成26年11月26日、福岡県知事及び福岡市長が「福岡空港の民間委託を進めて欲しい」旨を国土交通省へ表明。
- 12月11日、交通政策審議会 航空分科会 事業評価小委員会(委員長:家田東京大学教授)において、「平成27年度予算に向けた空港整備事業の新規事業採択時評価等について、適当である」との答申を受け、平成27年度予算編成の中で適切に対応する予定。

## ○ 現況

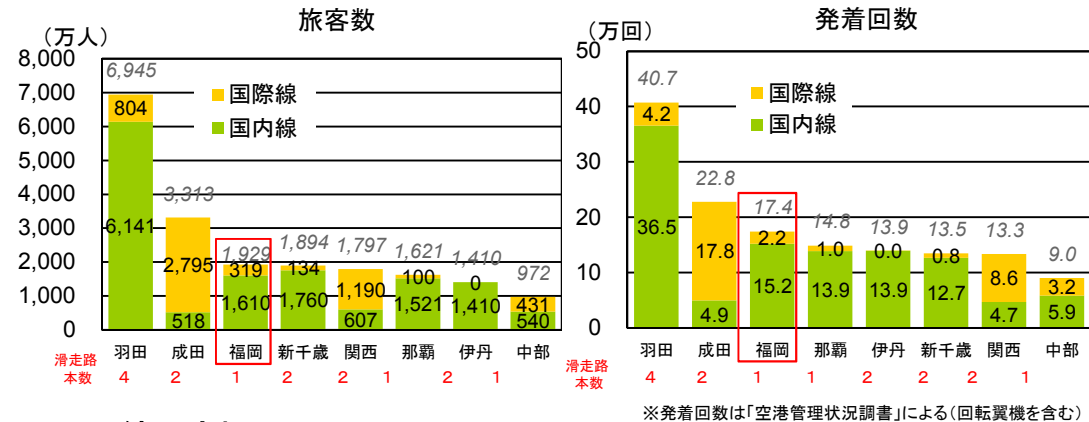
- ・滑走路 : 2,800m
- ・旅客実績 : (国内)1,610万人、(国際)319万人 (平成25年度)
- ・主要路線 : (国内) 186往復/日 (平成26年12月) 東京(52)、中部(12)、大阪(13)、宮崎(14)、那覇(20)等 (国際) 231往復/週 ソウル(63)、上海(28)、台北(28)、アムステルダム(3)等

## ○ 事業概要

- ・事業期間: 約10年※(用地買収、埋蔵文化財調査等の期間を含む。) (※今後の財源検討結果により整備期間が決定する。)
- ・概算事業費: 約1,600億円(他に民間事業費約200億円がある。)



## ○ 国内主要空港の利用状況 (平成25年度)



## ○ 手続の流れ

